

発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区长嶺南 1-5-4 0
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>

2024年



幕明け

新年おめでとうございます。

去年は、くまもと障害者労働センターおれんじ村を応援して頂きありがとうございました。

おれんじ村の事業も順調に売上を伸ばし、私達は楽しくやりがいの毎日（失敗やトラブルも含めて）です。弁当とスイーツは毎日日替りで、多くのお客様に購入して頂いています。

また、おれんじカフェでは7月8月9月の3カ月連続でイベント（夜市）を開催し10月には3年ぶりに秋祭りを実施しました。

夜市には、毎回6台のキッチンカーに来てもらって、イベントを盛り上げていただき、コロナ禍で自粛を余儀なくされた地域の人達との交流ができました。おれんじかふえが、地



🍊 本年もよろしくお祈りします。

域を結ぶ交流の場となってきました。

10月には、「エコネットみなまた」と法人を統合を行い、更なる飛躍に向け、事業・

運動体としての礎を築くことができました。これからエコネットみなまたと事業を共有して共同での商品開発を進めるとともに、誰でも働きやすく・暮らしやすい社会を目指して活動を進めていきたいと思ひます。

今年もくまもと障害者労働センターの理念である『障害者差別をはじめあらゆる差別を無くす運動』にしっかりと取組んで行きます。

また、1月1日（元旦）に石川県能登市を震度7の地震が襲い多くの被害者が出ています。まだ被災地の障害者がどんな情勢か把握出来ていませんのでとても心配しています。熊本地震で同じ震度7を経験した者として被災地によりそい支援をしたいと考えています。

今年も社会福祉法人くまもと障害者労働センター・おれんじ村とエコネットみなまたをよろしくお祈りいたします。

代表・倉田 哲也





来年は大阪、再来年は…、 ～共同連全国大会 怒涛の東京研修旅行～



コロナ禍以降、久しぶりの共同連全国大会にみんなで参加。おれんじ村から9名のはずが…、ここでもコロナの猛威が…。一番楽しみにしていた弥生さんが、直前のコロナでキャンセルに。おれんじ村村民8名とゲスト2名。合計10名のおれんじ村一行。いざ、東京へ!!!!



研修で学んだことはたくさんあるけど、今回は研修報告という名の『感謝の想い』をつづります。

今回の東京研修には、寝たきり女子大生のかんなちゃんも一緒。



おれんじ村の村民ではないけど…。(本当は、もう村民と思ってるよ。)呼吸器をつけての初の東京旅行。

彼女との出会いは、大学教授であり、おれんじ村の理事長が

教鞭をとる大学に彼女が入学したことがきっかけ。

大学入学時は施設入所中。その後、グループホーム。そして、一人暮らしへ。やっとこさ念願の一人暮らしをスタートさせた矢先に…。体調を崩し気管切開の手術が必要に。



そんな時期に、おれんじ村へ、『相談員が見つからない。相談員になってほしい。』と彼女からのSOSの電話。

『小さいころから施設で暮らしきた。就職後も集団生活を続けてきた。気管切開をした後も一人暮らしを続けたい。病院に入院して死にたくない。やっと手に入れた我が家を手放したくない。』



そんなこと言われたら、ねえ…。

障害があっても「入所施設での生活」、「親元での暮らし」を拒否し、地域で生きる場を創造してきた『おれんじ村』。彼女のSOSは、もちろん断ることはできない。

その後、彼女は奇跡的に体調が戻り、気管切開の手術をまぬがれ、一人暮らしを続けることができるように。しかし、またいつ気管切開の手術が必要になるかもわからない。

そんな中、今年の夏、彼女は大学の実習でおれんじ村にやってきた。実習中の医療的ケアは、熊本市の修学支援事業で各痰吸引の研修を終えたヘルパーさんを派遣。不足する分は、おれんじ村の看護師にて対応。

約1カ月の実習で、おれんじ村のみんなともう大の仲良しに、そんなことで彼女も一緒に東京へ研修に行くことに。

彼女の東京行きには、本当に多くの人の協力と応援があって実現した。

慣れない場所、熊本ではありえない人混みの中、自分の3日分の荷物を持ちながら、呼吸器の機材、吸引器、酸素ボンベなどたくさんの荷物を旅行の間ずっと運んでくれた『けんちゃん、のりさん』。

いつも笑いを。そして、スペシャルなダンスを披露してくれた『あっかりん』。

いつもみんなに気遣いをかかさない『めぐみさん』。

だれとでも仲良く話してくれた『あやねん』。

最高の寝顔で和ませてくれた『けいすけさん』。

3日間、移動だけでなく、ずーっと一緒に部屋で手伝ってくれた『よしみさん』。

すべて無償で、旅行前からかんなちゃんの家に通って、旅行中の医療的ケアを全部担ってくれた『おれんじ村の応援団のまさみさん』。

大会準備で忙しい中、宿泊場所、現地での入浴介助のボランティアの調整をしてくれた『共同連のなかま』。

東京で実際に入浴を手伝ってくれた『ボランティアの看護師さん』。

医療機器がたくさんの大荷物を準備してくれた『ヘルパーさん』。

主治医など医療機関と調整をしてくれた『訪問看護の看護師さん』。

出発前の早朝、帰宅後の夜間に訪問には行ってくれた『看護師のゆきちゃん』。

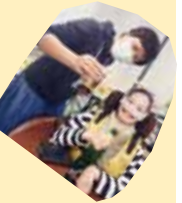
熊本駅までの送迎を手伝ってくれた『有償運送のてるゆきさん』。

研修で知り合ってたたくさん笑いをくれた『まゆみちゃん』。

移動の際に気持ちよく対応してくれた『JRの職員さん』。

・呼吸器や酸素を東京のホテルに手配してくれた『医療機器のスタッフさん』

東京まで飛行機だと約2時間の旅のはずが…、今回は新幹線。乗り継ぎいれると片道7時間以上の旅。2泊3日の東京研修旅行は、研修と移動のみ。観光は一切なし。だれ一人文句も言わず、怒涛の日々を一緒に楽しんでくれた『おれんじ村村民のみんな』。



誰でも受け入れ楽しんでくれるおれんじ村のみんなに、心より感謝。

みんな、とても尊敬できる。これからのおれんじ村の未来はきっと明るい。そう思えた東京研修旅行でした。

来年は、大阪。また、みんなで怒涛の共同連全国大会を楽しもうね。

そして、再来年。おれんじ村の40周年には、第40回共同連全国大会を熊本で開催しよう!!



みなさん、再来年は熊本へウエルカム!!



ハロウィン



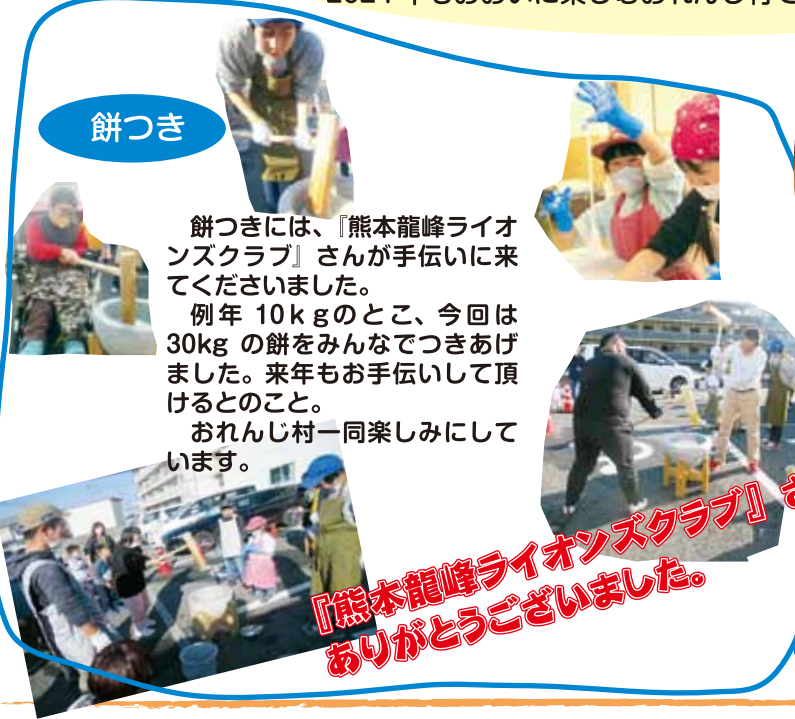
秋祭り



忘年会

おれんじ村年末年始ダイジェスト

おれんじ村では、地域の人にもっともっと知ってもらおうと、ハロウィン・秋祭り・忘年会・餅つきなどなどコロナで自粛していた活動を復活しました。みんなワクワク・ドキドキしながら、地域の皆さんとおおいに楽しみました。
2024 年もおおいに楽しむおれんじ村でありたい。



餅つき

餅つきには、『熊本龍峰ライオンズクラブ』さんが手伝いに来てくださいました。
例年 10kg のとこ、今回は 30kg の餅をみんなでつきあげました。来年もお手伝いして頂けるとのこと。
おれんじ村一同楽しみにしています。

『熊本龍峰ライオンズクラブ』さん
ありがとうございました。



書初め

成人祝

こんにちは。新年あけましておめでとうございます。今年もおれんじ村を一年よろしくお願いいたします。新年早々石川県能登市で大地震と羽田空港で飛行機の事故、北九州市の飲食店街で大火事がありました。今年は何が起こるか分かりません。避難用品を準備しておく必要があると思います。

今から 8 年前の 4 月、2 回も熊本を大地震が襲いました。日常生活が出来なくなり、ライフラインが寸断され、不便な生活が余儀なくされました。他県から多くの支援物資が届き、みんな感謝したことを覚えています。日常生活に戻ったあとのビールを飲んで美味しかった喜びは、忘れられません。1 日も早い復興を心から願っています。

IT 部 E

編集後記